

## 上総ゆうゆうの郷 イベントは盛大に

副施設長 三國蔵人



傘寿、古希のお祝い！

一月に女性の利用者が八十歳、九月に女性利用者と十月に男性利用者が七十歳を迎えました♪

朝のラジオ体操後のお知らせ放送では、ゆうゆうの郷全体からの拍手と「おめでとう」の声がかりました♪

令和二年三月二十八日より上総ゆうゆうの郷では、新型コロナウイルス

感染防止対策として、手洗いと手指消毒、マスクの着用、共同居住ゾーンの立ち入り制限と他ホールの交流中止、ひとつのユニットを感染者発生時の隔離ユニットとして対応しています。

以前よりユニット体制をとっていますが、さらに限られた環境となったことで、日常生活における利用者のストレス発散や活動、生活支援の工夫が必要となり職員の苦勞が浮かんできます。



文頭でも挙げましたが、以前は誕生日外出など外へ出ることが多かった



め、ユニット内でのお祝いが、より盛大なイベントとなっています。

イベントといえば、全体的におやつ作りやクッキングが多く見られています。コロナの影響なのか、毎月、男性職員が自宅で料理の腕を上げて振る

舞う「漢飯」というイベントは利用者も女性職員もお腹と笑顔がいっぱいです♪季節ごとのイベントも工夫が見られています。節分では、流行りの「鬼の刃」の衣装を着て楽しみながら福を呼び込みました。



他にも、ハロウィン、クリスマス、正月、ひなまつり：日本には様々なイベントがあるのだなと感じた一年でした。日中活動では、散歩やドライブが中心で、日差しを浴び、四季を身体で感じる毎日です。新型コロナウイルスによる不自由な環境でどう支援していくか：でも、だからこそ得られたモノもあります。この経験を活かして、不自由な時間を笑顔に変える支援をしていきたいと思っています。